

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜Aブロック 1回戦＞

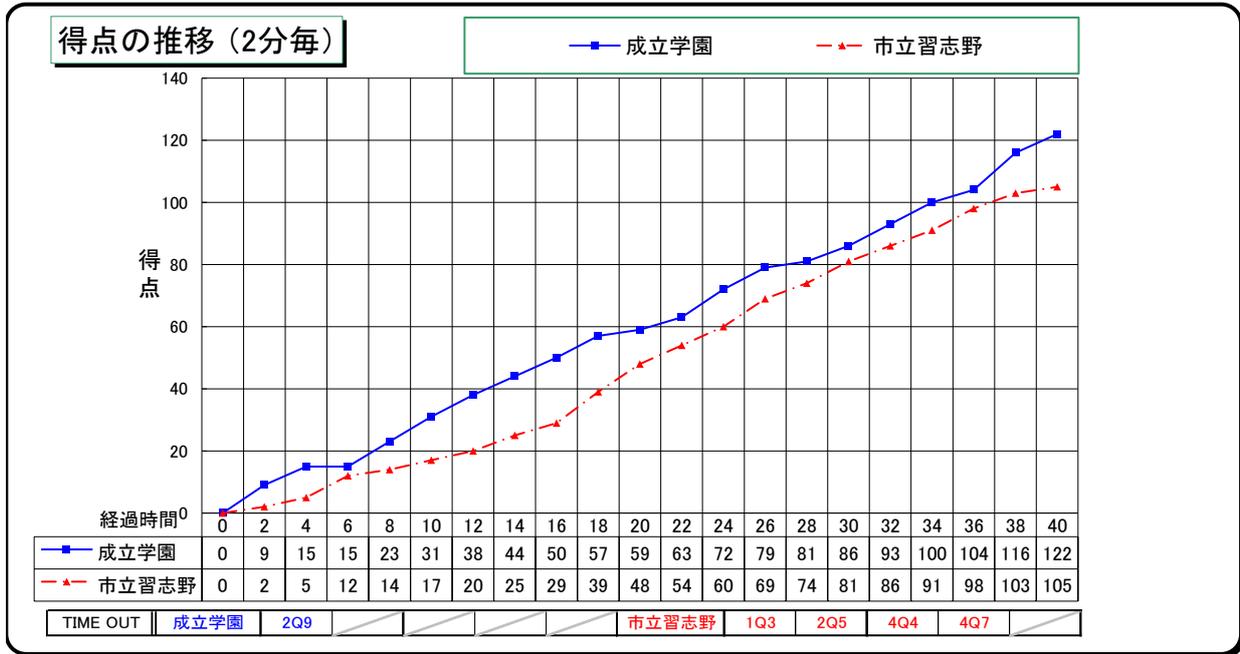
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Bコート	第4試合 13:30～	
<チームA> 成立学園 東京		122 { 31 1Q 17 28 2Q 31 27 3Q 33 36 4Q 24 }		<チームB> 市立習志野 千葉	

主審: 加納 康平 (神奈川) 第1副審: 吉田 健介 (茨城) 第2副審: 林 遼 (茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
○	1	山川 温暉	20	4	7	4	8			1	1	5	3
	2	細田 林蔵											
◎	3	阿苗奈愛育 デブイス	9			4	8	1	2	2	3	4	3
◎	4	長野 大二郎	37	3	9	10	21	8	10	4		4	6
◎	5	村越 悠貴	38	6	10	10	11			1		3	2
◎	6	田制 優芽	2		1	1	3			2		2	3
	7	本間 順成											
○	8	小林 虹	2			1	2				1	2	1
	9	岩瀬 隼輔											
	10	牧野 実											
	11	長橋 柊											
○	12	小林 笑大							1				
○	13	諏訪原 淳				4			1				2
	14	紺野 航平											
◎	15	渡邊 斗耶	14			6	8	2	2	1	6	6	
コーチ 永田 雅嗣郎													
合計			122	13	27	36	65	11	14	13	11	26	20

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	1	藤田 新大	3	1	2		1			1			
◎	6	橋本 雅楽	21	1	2	8	10	2	2			2	3
○	7	石田 海斗	4			2	2			2		1	1
	16	田中 翔											
	23	前田 絆虎											
	27	古川 智稀											
◎	31	岡崎 大智	24	2	5	8	18	2	4	2			6
○	34	宮澤 大智	20	6	12	1	4			1			1
	35	佐藤 秀真											
	44	デンリサウル 陽太											
○	60	小早川 隼	11	1	1	2	8	4	6		4		1
○	61	山下 隼翔			1	1							
◎	66	室田 大和											
	87	花島 啓太											
◎	99	ロイ 優太郎	22	4	8	3	10	4	5	4	1	4	4
コーチ 秋元 啓人													
合計			105	15	31	24	54	12	17	10	5	7	16

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦評 記入者: 淀縄 有人

関東大会1回戦、成立対習志野。第1Q、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりは成立#4長野、#5村越の外角のシュートからの連続得点を見せる。対する習志野#6橋本のドライブイン、#31岡崎のスティールと、習志野も負けずと食らいつづが、成立の攻撃力の高さに苦戦する。第1Qは31-17で成立がリードで終了。

第2Q、先制点は成立#5村越の3P。点差を縮めたい習志野は#99の3P、ドライブインで点差を離さない。その後は、成立は#4長野、習志野は#31岡崎が攻撃の起点となり、得点の取り合いが続く。習志野はゴール下でのダブルチームを發揮し、#34宮澤の連続得点で成立の得点に詰め寄ったところで、成立がたまたまタイムアウト。タイムアウト明けも習志野の流れを断ち切ることが出来ず、終了間際、習志野#99ロイの3Pが決まり、第2Qを59-48と点差を詰めた。

第3Q、後半に入り、点差を縮めたい習志野#99ロイを起点に、果敢にリングにアタックし続ける。対する成立#5村越も確率の高い外角のシュートを落とすことなく、点差を寄せ付けない。成立がアウトサイド、習志野がインサイドと攻めどころが異なる中、習志野はスピードのあるドライブインで相手のファウルを誘い、第3Qを86-81と習志野が5点差まで攻め寄せた。

第4Q、両チーム一歩も譲らないまま第4Qに入り、序盤習志野が2点差まで詰め寄るも、成立#5村越はパスカットからブレイクに成功し、点差を広げたため、習志野がタイムアウトを要求。タイムアウト明け、流れを掴みたい習志野は#34宮澤のためらいのない3Pを成功させるものの、アウトサイド・インサイドともに好調の成立#4長野が最後まで集中を切らさず、122-105と逃げ切った。最後まで勝敗の分からない白熱したゲームであった。